

弓削高 P T A 通信

「令和二年度を
振り返り」



PTA会長
寺下 貴義

PTA会長に就任してあつという間に一年が過ぎようとしていきます。会員の皆様には日頃よりPTA活動に御理解・御協力を頂き心より感謝申し上げます。

さて、令和二年度を振り返りますと、初めから終わりました。コロナ・コロナになってしまい、高校生活を満喫したい子ども達にとっては不完全燃焼の年だったかもしれません。しかし、このコロナ禍の状況

においても、弓削高校はPTA活動を含め最大限の対策を行いwith コロナを意識して子ども達の為に様々な活動に取り組んで参りました。コロナ対策の為に、例年通りの内容での文化祭が行えず、役員の皆様と先生方には、話し合いから準備と当日の運営まで、大変御迷惑をお掛けいたしました。このコロナ禍に子ども達と弓削高校のためにどこまで何が出来るのか真剣に向き合い取り組んでいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。

毎日マスクをして、換気をしながら授業を受ける子ども達には、記憶に残る年になったと思いますが、あわせて回りの多くの人が創意工夫し陰ながら支えてくれていることも思い出し、欲しいと思っています。

最後になります。このコロナ禍で続くのか分からないこのコロナ対応ですが、弓削高校PTAはいつも子ども達の為に一生懸命活動に取り組んで参りますので、本校に関わる全ての皆様に、引き続き多大なる御支援をお願いし、今年度の御報告といたします。



文化祭 PTA バザー



文化祭 アンブレラスカイ

「一年を振り返って」

PTA副会長
古林 直子

今年度PTA副会長をさせていただきますでしたが、御協力いただいた皆様のおかげで無事終えることができました。PTA会長をはじめ、役員の皆様、先生方、本当にありがとうございました。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、様々な行事等が制限されましたが、生徒一人ひとりが自分達でできることを考え、前を向いて歩いている姿を見て、とても頼もしく感じました。やはり

弓削高校の生徒は素晴らしいなど、改めて感じました。来年度からは、新役員の元新たな活動が始まります。今後とも子ども達のために、引き続き御理解と御協力をお願いし、弓削高校の更なる発展を願っていきたく思います。本当にありがとうございます。



文化祭 3年合唱

「活動報告」 PTA副会長

有吉 利江

令和二年という年は、誰もが忘れることのできない年になったことと思います。一番のメイン行事である文化祭でのバザーにおいて、例年とは違う形での運営をせねばならず、色々検討した結果、複数の地元のお店の協力を得て何とか形にすることができました。子ども達の笑顔のために一肌も二肌も脱いでいただいた皆様には深く御礼申し上げます。その他の活動としてはやはり、このコロナ禍ではなかなか懇親会も無く、少々残念でありました。集えず意見交換やアイデアを出し合うこともままならず、保護者の皆様には期待に沿えなかった部分もあったかと思えます。申し訳ございません。

本年度も残りわずかになり、三年生はいよいよ卒業し上島町や地元を離れ、新たな人生への旅立ちとなりますが、今までにない不自由なこの一年を乗り越えてきた強さを誇りに元気に人生を謳歌してほしいと思います。最後にになりましたが、御指導いただきました先生方、保

護者の方々、その他関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。



運動会新競技 ねずこ!こっち!こっち!

「活動報告」

PTA副会長

高井 栄作

今年度も残りわずかとなりましたが、寺下会長のもとで副会長としてPTA活動に携わり様々な経験をさせていただきました。

令和二年度は、コロナ禍の中、行事や役員会など例年通りに行うことはできず、全てに参加することはできませんでしたが、運動会では真剣に準備や三密にならないようソールシャルディスタンス等検討をされ、中止することなく無事開催することができほつと

文化祭での話し合いでは、PTAとしては目玉である手作り焼きそばを断念し飲食を伴う出店はできませんでしたが、コロナ禍の文化祭ということでアイディアを出し合い、限定とさせていただきます。

地域のお店より御協力を得ることができ、とてもお世話になりました。自分バザーを担当させていただきました。出品してくださった方々、準備や販売に協力してくださった方々、ありがとうございます。副会長としてPTAの運営に貢献できたかどうか分かりませんが、子ども達、先生方、保護者の皆さんと関わることで良い経験となったと思えます。会員の皆様には、今後とも各活動や懇親会へ気軽に参加していただき、弓削高校を盛り上げていきましょう。最後にになりましたが、今後ともPTA活動についての御理解と御協力をお願いし、活動報告とさせていただきます。

「感染症の終息を願って」

教頭 渡邊 一郎

地域の方々に、厚くお礼申し上げます。特に今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、運動会や文化祭などの学校行事への来校者を家族限定とさせていただきます。様々な面で御不便をおかけしました。一刻も早く新型コロナウイルス感染症が終息し、来年度以降は従来どおりの形で学校行事が行えることを願ってやみません。さて、本校の今年度の重点努力目標は『仕事を創りに還元したい人材の育成』—確かな学力の向上とアイデンティティの醸成を通して—です。この目標を達成するため、生徒たちは総合的な探究の時間で仕事創りについて学んでいます。この取組は対外的にも高く評価されており、教育雑誌にも取り上げられました。このような活動を通して、生徒の様子も変容してきています。自主的にプロジェクトを立ち上げ、地域の方々を巻き込んで活動を始める生徒が現れています。

上島町と弓削高校に魅力を感じてきています。来年度は、より多くの県外入学生を交えて、弓削高校そして上島町が活性化することと期待しています。今後も、本紙第四面に掲載しております学校評価アンケートの結果等を踏まえ、今年度取り組んできた活動を更に充実させて、地域から信頼され、地域に貢献できる学校づくりをしていきたいと考えております。これからも、保護者の皆様や地域の方々の御理解と御協力が私たちの大きな力となりますので、応援の程よろしくお願いいたします。



体験入学会 授業体験

《総合学習》 1年生「地域仕事学」

《概要》

一年次の総合的な探究の時間では、しごと創造学と題して、様々な知識をインプットすることを目的として実施しています。自身の価値観を見直したり、その価値観を言語化したりと、次年度の取組に向けて、日々学習に励んでいます。

《感想》 田房 優人

今まで、自分から仕事を創

るという感覚はありませんでした。しかし、総合的な探究の時間の中で、グループワークを通して「しごと創り」に関して様々なことを学び、「仕

2年生「地域仕事学」

《概要》

「AI」や「VUCA」など同じものの方でも、それぞれの考え方によって、扱い方が違うのだということを学びました。仕事を創る上での、社会へのメリットやデメリットを考えながら取り組め、内容は難しかったですが、楽しみながらできました。

二年生の総合的な探究の時間（地域仕事学）では、大



2年生 「地域仕事学」

事を作り、各部署に分かれて課題解決のための話し合いや起業のための準備を行いました。

《感想》 村上優菜

地域仕事学では、会社をつくり、起業するまでの仕組みを深く知ることができました。

1年生 「地域仕事学」

「上島町の人口」「上島町の産業」の六つのテーマを設定し、テーマごとにグループに分かれ、それぞれのテーマに沿った課題を洗い出し、それらを解決する「社会課題解決型起業」を目指しています。

真剣に向き合うことができました。世の中が変わりつつある現在、働き方も変わってきています。受け身のままで仕事

を得ることができません。やはり自分から動くという積極性が最も大切です。今回の授業を通して積極性を培うことができました。

3年生「インタビュー」

《概要》

昨年度行ったゼミ活動の「地域人材学」の内容を引き継ぎ「インタビュー」をしました。

インタビューをする相手は、主に自分の進路に関わる人です。インタビューをするにあたって、事前学習として様々な活動をしました。当初は、直接自分で足を運んで対面でのインタビューをする予定でしたが、コロナ禍により、SNSや電話などを使用したインタビューとなりました。

《感想》 佐伯 碧

私は今回の総学で、進学先の専門学校の方々にインタビューしました。面識のない方に、電話やSNSなどを使ってアポを取ったり、失礼のないよう言葉遣いに気を付けたりなど、慣れないことが多く大変でした。しかし、皆さんのことを学ぶことができ

ました。特に印象に残っていることは、「常に何かしらの努力をしなければならぬ。」という専門学生の言葉です。インタビューを通して、一人ひとりが夢に向かって一歩前進し、成長することができました。卒業後も、夢を叶えられるように努力していきたいです。



3年生 「インタビュー」

三月行事予定

三月一日(月)

卒業証書授与式

三月十一日(木)～十二日(金)

入学者選抜学力検査

三月十八日(木)

第三学期終業式

三月二十九日(月)

離任式

令和2年度第2学期学校評価アンケート（三者比較）

（令和2年12月実施）

分 類		評 価 項 目	評 価 値					
			生徒		保護者		教職員	
学校教育 全 般	①	学校の教育方針や重点目標の伝達と理解	83	◎	74		88	◎
	②	情報発信の工夫（ホームページ・「弓削高だより」など）	76		79		100	◎
	③	学校教育の推進と学校生活への充実感	70	▲	85	◎	83	◎
学習指導 教科指導	④	丁寧で分かりやすい授業の実践	82	◎	75		88	◎
	⑤	生徒の能力を伸ばすための個別指導の導入と理解の深化	79		76		92	◎
	⑥	学習形態の工夫や習熟度別・類型別学級編成による進路希望に応じた指導	80	◎	79		88	◎
	⑦	積極的なICTの活用、話し合いの場の設定など、主体的・対話的な学びの実践	81	◎	71		90	◎
	⑧	適切な課題設定による学習習慣の定着	71		70		63	▲
進路指導	⑨	進路決定のための計画的で適切な進路情報の提供	74		73		79	
	⑩	進路選択に役立つガイダンス機能の充実	76		69	▲	75	
	⑪	個別指導・面接指導の実施による進路相談の充実	80	◎	72		81	◎
生徒指導	⑫	命を大切にする心や社会のルールを守る態度の育成	83	◎	86	◎	85	◎
	⑬	あいさつ・言葉遣いの指導の徹底	81	◎	83	◎	73	
	⑭	生徒同士及び生徒・教師間の豊かな人間関係の育成	83	◎	79		75	
健康安全 環境指導	⑮	健康で安全な生活に資する施設・設備の整備	76		76		73	
	⑯	心身の健康に問題が生じたときのケア体制の充実	73		72		83	◎
	⑰	事故防止・防災・防犯に対する適切な指導	85	◎	74		85	◎
人権同和 教育 教育相談	⑱	あらゆる教育活動における人権・同和教育の視点に立った教育の推進	82	◎	74		77	
	⑲	生徒が気軽に相談できる教育相談体制の整備	68	▲	75		81	◎
特別活動	⑳	地域に貢献できる生徒の育成につながる奉仕活動の充実	88	◎	78		83	◎
	㉑	生徒と教師が一体となった部活動の推進	85	◎	81	◎	83	◎
	㉒	生徒と教師が一体となった生徒会活動・学校行事の推進	90	◎	85	◎	92	◎
総平均値			79		77		83	◎

※ 評価値は、A－4点、B－3点、C－2点、D－1点として算出したものを100点満点に換算している。
 ※ ◎－80以上、▲－70未満を示す。